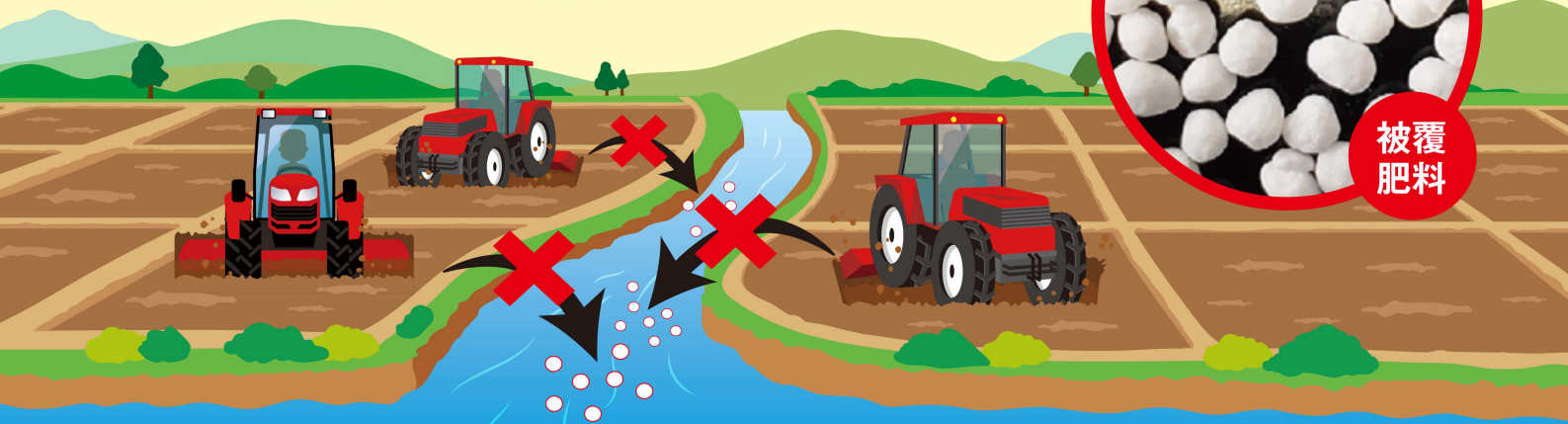


生産者のみなさまへ

肥料成分が
溶出した後の被膜殻



被覆肥料の 被膜殻の 流出防止に ご協力ください



被覆肥料は、軽労化や施肥量の削減につながるなどの利点がありますが、表面をプラスチック等の被膜でコーティングしているため、水田では肥料成分が溶出した後の被膜殻が水面に浮上し、河川等へ流出する可能性があります。



水田外へ流さないために

まずはできる取組から始めましょう！

くわしくは裏面へ ▶

作業の ポイント

畦畔管理

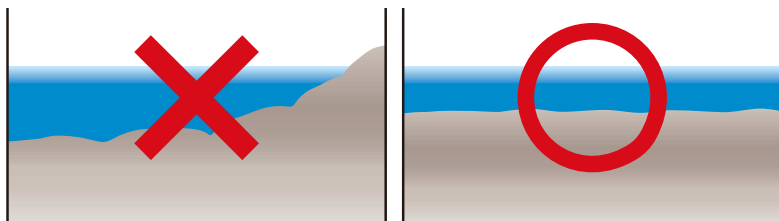
- ☑ あぜが崩れていないかを確認し、必要に応じてあぜ塗りやあぜシートを設置する。

重要

浅水代かき

流出した被膜殻の大半がこの時期のものです。

- ☑ 入水までに田面の高低差をなくす。
 - ☑ 代かきはできるだけ浅水で行う。
 - ☑ 田植え前の落水は行わず、**自然落水**で水位を調整する。
- ※これらは被膜殻だけではなく、濁水や肥料成分の流出防止にも有効な取組です。



入水までに田面の高低差をなくす



代かきは浅水で

施肥方法・肥料の見直し

- ☑ 樹脂を使用していない肥料や流し込み液肥を導入する。
- ☑ 堆肥や緑肥などの有機質肥料を導入する。
- ☑ 土壌診断や栽培暦等に基づいた適正施肥に努める。
- ☑ 施肥量の削減につながる側条施肥技術を導入する。



樹脂を使用していない肥料

お問い合わせ先
一覧



対策動画



被覆肥料に
関する情報

